

平成23年度 事業計画

高齢化の進展と医療技術の進歩に伴う、薬剤師による薬物療法への更なる関与など、医療ニーズへの迅速な対応が求められており、また、在宅医療、薬物乱用、うつ自殺予防対策等に対する関与など、薬剤師に対する社会的要請も高まってきている。

平成21年6月施行の改正薬事法は、3年間の経過措置をもって平成24年6月から完全施行される。しかし、施行後の厚生労働省による「一般用医薬品販売制度状況調査」の結果を見ると、第1類医薬品の購入時における情報提供や、従事者の名札着用など、薬局での対応が不十分であったと受け取らざるを得ない実態が明らかになった。引き続き法改正の趣旨を踏まえた適切な販売体制の徹底に努める。

昨今、短期間に複数の医療機関を受診し、必要以上に向精神薬を処方してもらうなど、向精神薬を大量に入手しようとする患者さんが多発している。特定の患者さんに複数の医療機関から向精神薬等が多量に処方され、医療上の適正量を超えて施用されることは、その患者さんの健康を害する恐れがあるほか、向精神薬の特性から、薬剤師職能の発揮が求められる。

また、平成22年3月公表の厚生労働省「チーム医療の推進に関する検討会報告書」に基づき、今後、医療現場における薬剤師の役割と業務範囲の拡大が議論されることになる。国民が安心して享受できる医療を担保するためには、医療機関や地域を問わず、チームによる医療の提供が不可欠であり、薬物治療を担当する薬剤師の役割と責任を明確にすべきである。

このような状況の中、平成24年4月施行の診療報酬・介護報酬の同時改定は、これまで以上に厳しい経済環境の中で行われることが予測される。医療連携体制の中で、安全で安心な薬物治療の推進と、医療提供体制を支えるチーム医療の一員として、薬剤師としての役割を果たすべく、今後も一層の努力が必要である。

病院・薬局における薬学生の長期実務実習については、平成22年5月より開始されたが、受入れ側の「認定実務実習指導薬剤師」の異動等により、一部の地域においては受入れ体制の維持が困難となりつつある。引き続き、円滑な薬学生の受入れ体制の維持・整備を図るため、「認定実務実習指導薬剤師」の継続的な養成に努める。

公益法人制度改革による新法人への移行問題については、「公益社団法人」の認定を目指し、組織体制の見直し、更なる公益性の高い事業の展開等、鋭意移行作業に取り組んでいるところである。平成23年度は認定申請を行うべく、更なる必要な作業を行う。

なお、平成24年10月7日・8日、アクトシティ浜松にて「第45回日本薬剤師会学術大会」が開催される。そのため、平成23年度は本学術大会に向けての様々の準備が必要である。準備作業を円滑に行うためには、静岡県薬剤師会の全会員の協力が不可欠であり、平成23年度においては、全会員、全支部（地域・職域薬剤師会）の一致団結と、準備作業への協力をお願いしたい。

[重点事項]

- (1) 医薬分業の適正化の推進
- (2) 医薬品販売制度への対応
- (3) 地域医療連携体制の確立
- (4) 薬剤師養成のための薬学教育への対応
- (5) 公益法人制度改革への対応
- (6) 会員拡充対策の検討
- (7) 地域・職域薬剤師会との協力体制の強化

I 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

<学術部会>

1 生涯学習の推進

- (1) 疾患別シリーズ研修会の開催
- (2) 日本薬剤師研修センター及び静岡県薬剤師研修協議会が実施する生涯学習事業への協力
- (3) 名古屋市立大学、岐阜薬科大学及び静岡県立大学による「三公立連携薬剤師生涯学習支援講座」への協力
- (4) 研修センター構想あり方検討有識者会議の設置

2 薬剤師養成のための薬学教育への対応

- (1) 日本薬剤師研修センター認定「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」の開催
- (2) 日本薬剤師研修センター認定「認定実務実習指導薬剤師養成講習会」の開催
- (3) 病院・薬局実務実習東海地区調整機構への参画
- (4) 薬局実務実習支部責任者会議の開催
- (5) 静岡県立大学薬学部薬局実務実習への協力
 - ア 静岡県立大学薬学部学生病院・薬局実務実習協議会への参画
 - イ 平成 23 年度薬学部 1 年生早期体験学習受入薬局の調整
 - ウ 実務実習報告会への参加
 - エ O S C E（客観的臨床能力評価試験）への評価者派遣（評価者事前講習会を含む）
 - オ その他静岡県立大学薬学部が主催する関連事業への協力
- (6) 東海地区戦略的大学連携支援事業への協力

3 学術活動の推進

- (1) 第 44 回日本薬剤師会学術大会（宮城大会）及び第 44 回東海薬剤師学術大会（三重大会）への参加
- (2) 第 45 回日本薬剤師会学術大会（静岡大会）の準備
- (3) 日本薬学会等学術団体との連携

Ⅱ 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

<学術部会>

- 1 医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させるための「薬と健康の週間」事業の推進
 - (1) 「薬と健康の週間」啓発キャンペーンの実施
 - (2) 「薬と健康の週間」関連事業への助成
 - (3) 日本薬剤師会「薬と健康の週間」統一事業への協力
- 2 健康増進事業の推進
 - (1) 支部薬剤師会主催の健康フェア等への協力
 - (2) 県民総参加の「健康づくり県民運動」を推進する「しずおか健康いきいきフォーラム」への協力
- 3 高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会の開催
- 4 医薬品試験検査業務の検討
- 5 日本薬剤師会「薬剤イベントモニタリング（DEM）」事業への協力

<開局部会>

- 1 医療保険制度への対応
 - (1) 調剤報酬請求の適正化
 - ア 調剤報酬請求事務講習会の開催
 - イ 薬歴管理等に関する支部薬剤師会主催の研修会等への講師の派遣
 - ウ 医療保険制度に関する情報の徹底と相談体制の充実
 - (2) 次期調剤報酬改定に関する説明会の開催
 - (3) 会報「しずおか」への「社会保険Q&Aコーナー」の掲載
 - (4) 厚生労働省東海北陸厚生局等による保険薬局対象の「共同指導」、「個別指導」、「集団的個別指導」、「集団指導」、及び保険薬剤師対象の「集団指導」等への立会い
 - (5) 医療のIT化に伴う電子化に関する研究
 - (6) 保険薬局に必要な「掲示物」等の徹底
- 2 保険調剤実務指導員研修会の開催
- 3 社会保険支部担当者会議の開催

Ⅲ 公衆衛生の普及・指導に関する事業

<学術部会>

- 1 毒物劇物取扱者試験準備講習会の開催
- 2 静岡県血液事業（献血推進キャンペーン）への協力

<学校薬剤師部会>

- 1 医薬品の正しい知識の普及と、シンナー・覚せい剤・大麻等の薬物乱用防止のための「薬学講座」の実施

- 2 学校薬剤師の職務の推進と資質向上のための「学校薬剤師講習会」の開催
- 3 「中学校学習指導要領」改訂に伴う学校薬剤師による学校保健教育への支援
- 4 日本学校薬剤師会・静岡県薬剤師会主催の「第 61 回全国学校薬剤師大会」の開催
- 5 ホームページ学校薬剤師サイトのリニューアル
- 6 学校薬剤師支部担当者会議の開催
- 7 静岡県の「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」への協力

IV 薬事衛生の普及・啓発に関する事業

<総務部会>

- 1 会報「しずおか」の発行
- 2 ホームページの充実
- 3 報道機関等内外コミュニケーション活動（情報発信）の推進
- 4 医薬品の適正使用に関するラジオ、一般新聞等マスコミ報道等への協力

<開局部会>

- 1 薬事法遵守の徹底
 - (1) 一般用医薬品販売制度に関する掲示物等の掲示の徹底
 - (2) 一般用医薬品販売に関する講習会の開催
 - (3) 「一般用医薬品販売手順書」の作成の検討
- 2 日本薬剤師会制定「都道府県薬剤師会基準薬局制度」の推進
 - (1) 基準薬局の新規・更新認定業務
 - (2) 静岡県薬剤師会における新たな認定基準薬局制度の創設の検討

V 地域医療への貢献並びに医療安全の確保に関する事業

<学術部会>

- 1 医薬品情報誌の発行の検討
- 2 日本アンチ・ドーピング機構「スポーツファーマシスト」養成事業への協力
- 3 医薬品情報管理センターの運営
 - (1) 医薬品及び健康食品に関する情報の収集及び解析
 - (2) 医薬品に関する有用な情報の会務組織及び関係機関・団体への提供
 - (3) 患者及び家族等が抱える医薬品等に関する相談・苦情の応需
 - (4) 「高齢者くすりの相談室Q&A」第 16 集の発行
 - (5) 医薬品情報管理センター（室）実務担当者会議の開催
 - (6) 医薬品情報管理センターのあり方の検討
- 4 「内服薬処方せんのあり方に関する検討会」報告書の説明及び医療安全に関する講演会の開催

<開局部会>

- 1 調剤過誤防止対策の推進

- (1) インシデント事例の収集と提供
- (2) 調剤過誤防止・医療安全管理講習会の開催
- (3) 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力
- 2 医療機関毎の「後発医薬品変更報告書」の書式の収集及び提供
- 3 医療機関に対する疑義照会の項目の例示
- 4 薬局における偽造処方せん及び多重受診患者への対応
 - (1) 偽造処方せん警告ポスターの利用の促進
 - (2) 日本薬剤師会「薬局における偽造処方せん対応マニュアル」の利用の促進
 - (3) 医療機関・薬局間における偽造処方せん及び多重受診患者に関する情報の共有方法の検討
- 5 薬剤師確保対策
 - (1) 薬剤師求人情報の提供の充実
 - (2) 全国薬系大学就職説明会（就職ガイダンス）への参加
- 6 地域医療連携事業
 - (1) 薬局における地域医療連携体制構築の研究
 - (2) 薬薬連携の向上に関する研究
 - (3) 医療用麻薬に関する研修会の開催
 - (4) お薬手帳の普及・啓発
 - (5) 静岡がんセンター連携よろず相談薬局モデル事業の推進
 - ア よろず相談薬局打合せ会の開催
 - イ よろず相談薬局「静岡がんセンター連携薬剤師養成研修」の開催
 - ウ 「よろず相談薬局」県民向け啓蒙ポスターの作成
 - (6) うつ自殺予防対策事業の推進
 - ア 「メンタルヘルス薬剤師サポーター育成研修会」の開催
 - イ 「気づき」を高める睡眠キャンペーン事業の実施
- 7 居宅等における医療提供及び介護保険制度への対応
 - (1) 介護保険及び在宅介護に関する総合的な相談の応需と、苦情相談窓口を紹介する「健康介護まちかど相談薬局事業」の推進
 - (2) 薬剤師職能啓発のための医療機関及び介護支援事業所向け「お薬出前講座」の実施
 - (3) 日本薬剤師会「在宅療養推進アクションプラン」事業の展開
 - (4) ホームページ在宅介護サイトの構築
 - (5) 静岡県社会福祉協議会「健康福祉推進ネットワーク」への協力
 - (6) 介護保険支部担当者会議の開催
- 8 薬事・健康保険団体・機関が行なう医薬分業関係事業への協力

VI 災害時等の医薬品の確保・供給に関する事業

<総務部会>

- 1 災害時における携帯電話情報連絡システムによる連絡網の構築
- 2 医療救護活動に関する防災訓練の充実
 - (1) 大規模地震発生時における被害状況調査に関する連絡訓練の実施
 - (2) 静岡県総合防災訓練及び地域防災訓練への協力
 - (3) 静岡県「地震対策オペレーション（大規模図上訓練）」への協力
- 3 支部薬剤師会災害対策担当者の役割の構築
- 4 ホームページ災害時公開サイト(災害時掲示板)の構築
- 5 災害対策支部担当者会議の開催
- 6 災害時における薬剤師ボランティア受け入れ態勢の検討
- 7 都道府県薬剤師会災害対策担当者との連携の検討

VII 上記以外の事業

<総務部会>

- 1 公益法人制度改革への対応
 - (1) 定款の変更の案の作成
 - (2) 諸規程の作成
 - (3) 新法人への移行の申請
 - (4) 公益法人制度改革に関する支部担当者会議の開催
- 2 会員拡充対策の検討
- 3 支部連絡協議会及び地域ブロック協議会の開催
- 4 薬事功労者、学校保健功労者等の表彰及び推薦
- 5 日薬共済部、薬剤師年金、薬剤師国民年金基金、薬剤師賠償責任保険及び個人情報漏洩保険への加入の促進
- 6 静岡県医師会、静岡県歯科医師会、静岡県病院協会、静岡県病院薬剤師会、静岡県薬事振興会等関係団体との連携・協力
- 7 静岡県薬剤師会館の管理運営
- 8 総務部会、組織・会員委員会、広報活動委員会、災害対策委員会の開催
- 9 日本薬剤師会等主催の各種関係会議への出席

<学術部会>

- 1 学術部会、医薬品情報委員会、医薬品試験委員会及び生涯学習委員会の開催
- 2 日本薬剤師会等主催の各種関係会議への出席

<開局部会>

- 1 開局部会、職能対策委員会及び介護保険委員会の開催
- 2 日本薬剤師会等主催の各種関係会議への出席

<学校薬剤師部会>

- 1 学校薬剤師部会及び学校薬剤師委員会の開催
- 2 日本薬剤師会等主催の各種関係会議への出席